

問題	正 答	配 点	採点上の注意
1	(1) $\frac{-x+2y}{12}$	4	4 5
	(2) $18+5\sqrt{6}$	4	
	(3) $x=3, -1$	4	
	(4) ウ	4	
	(5) 13 と 14	4	
	(6) 12 (個)	5	
	(7) $\frac{27\sqrt{2}}{2}$ (cm ³)	5	
	(8) $\frac{3}{10}$	5	
	(9) $2\pi+8\sqrt{2}-16$ (cm ²)	5	
	(10) (ア)にあてはまる値) 0.35 (説明) (例) 54回以上の階級における相対度数の合計はA中学校が0.8, B中学校が0.55であるから, 割合が大きいのはA中学校である。	5	内容に応じて部分点を認める。

問題	正 答	配 点	採点上の注意
2	(例) 	6	1 3
	(証明) (例) △BCDにおいて, 中点連結定理より, EF // BD① EF = $\frac{1}{2}$ BD② 仮定から, DA = $\frac{1}{2}$ BD③ ①から, EF // DA④ ②, ③から, EF = DA⑤ ④, ⑤から, 1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいので, 四角形DEFAは平行四辺形である。 したがって, DFとAEは平行四辺形DEFAの対角線となるので, それぞれの中点で交わる。	7	
3	(1) ア 13 イ 243	4	1 4
	(2) (説明) (例) 点C, Dの値は $a+b$, 点E, Hの値は $2a+b$, 点F, Gの値は $a+2b$ なので, $a+(2a+b)+(a+b)+(a+2b)+b+(a+2b)+(a+b)+(2a+b)=9(a+b)$	5	
	(3) nの値 5 点の最大値 50	5	
4	(1) $y = \frac{3}{2}x+6$	4	1 6
	(2) 36π (cm ³)	6	
	(3) $x = -5+\sqrt{57}$	6	
5	(1) $45\sqrt{11}$ (cm ²)	6	1 2
	(2) $11-2\sqrt{15}$ (cm)	6	
配 点 合 計		1 0 0	